

農山漁村地域整備計画評価調書

計画の概要	計画の名称	災害に強い安全・安心な漁港海岸整備計画(2)
	計画策定主体	新潟県
	対象市町村	村上市、新発田市、新潟市、出雲崎町、柏崎市、上越市、糸魚川市、佐渡市、粟島浦村
	計画期間	令和5年度～令和9年度
	計画の目標	<p>【海岸耐震対策】 想定される大規模地震及び地震に伴い発生する津波に対して、護岸等の防護機能低下による浸水被害を防止し、背後地の人命や財産を防護するために、耐震補強工事を行う。</p> <p>【津波・高潮危機管理対策】 津波又は高潮に関する危機管理対策として、既存の海岸保全施設の緊急的な防災機能の確保を図る。また、漁港海岸保全施設の老朽化による機能低下を防ぐため、長寿命化計画に基づいて計画的に維持補修を行い、国土保全及び住民の生命・財産の保全に資するとともに、維持管理・更新に係るコストの低減と予算の平準化を図る。</p>
	評価指標	<p>【海岸耐震対策】 耐震対策工事：施設の耐震化による被害を未然に防止する面積 2.5ha</p> <p>【津波・高潮危機管理対策】 津波・高潮対策工事：施設の老朽化による被害を未然に防止する面積 0.1ha 海岸保全施設基本計画の策定率(100%) ※計画策定率2/2 (内地と離島 N=2式) 高潮浸水想定区域図の作成率(100%) ※区域図作成率2/2 (内地と離島 N=2式)</p>
対象事業	海岸保全施設整備事業(海岸耐震対策) 海岸保全施設整備事業(津波・高潮危機管理対策)	
全体事業費	701,084千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	県の地域防災計画との整合性が図られている。海岸保全基本計画との整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	災害から海岸保全区域背後地を防護するために対策を行う目標設定となっている。 海岸保全区域背後地の住民等の安全確保に寄与する目標設定となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	耐震性能の不足及び老朽化している漁港海岸保全施設に対して、対策工事実施地区数を指標としていることから、定量的で整合の取れた指標となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業完了時に、対策工事実施地区海岸数を確認することで評価可能である。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の実施により性能が不足する護岸等に対策工事を実施する等、背後地の安全を確保につながることから、指標として適切なものとなっている。 長寿命化計画に基づいた対策工事の実施を指標としており、適切なものとなっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	県農林水産部漁港課で円滑な事業執行の体制が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地震及び津波に対する防災意識が高まっているおり、海岸保全区域背後地の安全確保が望まれている。
評価結果	評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し		[評価基準] 「評価 I」は全項目に○印がついている 「評価 II」は1項目でも×印がついている